

活性化モデル商店街の成功事例

商店街：諏訪地区商店街【すわポン商店会、プリオテナント会】

●キャッチフレーズ

都市機能が充実し、魅力のある、賑わいあふれるまち「諏訪」

◎商店街の将来ビジョンの実績

B1グランプリ中日本大会及び全国大会の開催や、それに関するすわポン商店会及びプリオテナント会が実施する各種活性化イベント等により地域の商業活力を向上させ、また駅、幹線道路、商業施設及び公共施設が集中している諏訪地区の魅力、特に小売やサービス業の店舗の充実による買い物の便益性（生活環境の充実）を多くの来街者に発信することができた。最重要課題であるプリオの客数は、公共施設等を配置したことで平成24年度以降年々増加し回復基調であるものの、近辺に新たに商業施設等も整備されるなど商環境は引き続き厳しい状況である。その中で、すわポン商店会、プリオテナント会及びまちづくり会社が連携し、参加店舗にとってメリットのある各種事業について年間を通じて実施することで、まちの賑わい向上に努めている。

◎事業実績

○地域経済活性化事業（24年度～27年度）

商店街等主催のまちなか活性化イベント、まちなか情報発信事業、地域コミュニティを推進する施設の開設事業、賑わい創出まちづくり事業等を実施

○地域資源活用事業（24年度、25年度）

地域資源を活用した、豊川市を始めとした愛知県のご当地グルメを紹介及び販売する事業や、30万人～50万人の集客力を持つB1グランプリ全国大会の開催に合わせて、豊川の魅力を発信

○地域住民・団体・大学等との連携交流事業（25年度、26年度）、個性・魅力の創出事業（25年度）、外部人材活用促進事業（27年度）

商店街等主催のまちなか活性化イベント、まちなか情報発信事業等を実施

○人材流動化促進事業（27年度）

テナントミックス事業、魅力創造事業を実施

○環境対策事業（27年度）

都市基盤整備及びまちの景観等向上事業等を実施

◎事業の効果

- ・ 豊川市諏訪商店街振興組合解散後に、平成24年12月1日に設立されたすわポン商店会の会員数は、当初の13名から、平成28年3月末時点では29名と増加している。
- ・ プリオの客数は、24年度以降年々増加し回復基調である。



(プリオ内でのイベント)